

昭和女子大学 現代教養学科「社会調査研修A」公開講座

東京とオリンピック 1964→2020

2つのオリンピックを通してみるダイバーシティと国際都市東京の空間的変貌について学ぶ



2019/05/11 本研修にて撮影（お台場）

日時：2019年 6月 15日(土) 13:00-16:30（開場12:30）

会場：昭和女子大学 オーロラホール（世田谷区太子堂1-7-57）

＊先着100名・申込み不要（参加費無料）

プログラム：

13:00-13:10 社会調査研修Aと公開講座について

13:10-14:40 吹浦 忠正 氏（世界の国旗研究協会会長）講演

「東京オリンピック・パラリンピックと国旗とダイバーシティ」

14:40-15:00 休憩

15:00-16:30 岡本 哲志 氏（都市形成史家）講演

「東京の都市空間変貌とオリンピック -ブラタモリのまちの読み方-」

2019年度現代教養学科開講科目「社会調査研修A」では、「オリンピックを通して東京の変貌を探る－過去から学ぶ。今を記録する。そして、未来を考える。－」をテーマに21名の受講生が、2020年のオリンピック会場となるヘリテージゾーンと東京ベイゾーンでのまちの変化を捉えるため、フィールドワークを行っています。今回の講演で歴史的、社会的側面から学びを深め、最終的には2019年11月2日に三軒茶屋にてパネル展示＆報告会を開催します。

主催：昭和女子大学 人間社会学部 現代教養学科

問合せ：現代教養学科教授室 Tel:03-3411-5042 e-mail:gendai-tokyo2019@swu.ac.jp

現代教養学科教授室開室時間:月～金8:30-17:30（ただし、5/20-5/23は研修のため閉室）